

河合町教育委員会会議録

第 7 回(7月)

日 時	令和 7年 7月 24日(木) 14時00分～
開 催 場 所	河合町役場 3階 第3会議室
出 席 委 員	教育長 上村 欣也 職務代理 福本 優子 委 員 森嶋 勝彦 委 員 山川 裕子 委 員 中村 由香利
委員以外の出席者	教育委員会 教育振興部長 中尾 勝人 教育委員会事務局 生涯学習課 課長 吉川 浩行 教育振興部総務課 課長 川村 大輔 指導主事 本多 茂経
欠 席 委 員	無
開 会	教育長
	「議事及び報告事項」
議案第7号	「子ども未来応援講座」の後援について 【報告了承済】
	「教育委員会会議録」
(1)	
議案第7号	「子ども未来応援講座」の後援について
●	主な説明(川村教育振興部総務課長)
	資料に基づき説明をする。
	(教育長)了承することとしてよろしいか? (異議なしの声)
(2)	
そ の 他	・部活動地域移行に伴う運営委員会について(川村教育振興部総務課長) 山川委員 「回答率が低いのではないのでしょうか、中学校の先生は自分事としてとらえていないのでは?」 中尾部長 「7/18 がメ切でした。記名式なので無回答の先生が誰かは分かっていますが、回答するように催促はしていません。関わりたいという先生は少数、分からない、条件が合えばという先生が複数おられます。」 中村委員 「休日の活動となれば、指導者も複数必要になるので、兼職・兼業で先生方の係わりが必要になってくるのではないのでしょうか。」

中尾部長

「先生にかかわってもらいたい気持ちはありますが、どう伝えるのか、1歩間違えると誤解を生むことにもなるので、慎重に進める必要があります。指導者1人で指導するのは厳しいです。子どもを預かる中で、先生に協力してもらえたらというのが理想なんです。」

山川委員

「教員の負担軽減につながるので、先生もこのアンケートに対し「地域移行には賛成」という回答が多いのでは。」

中村委員

「広域での話は進んでいますか。」

中尾部長

「事務局同士で情報共有はしていますが、広域での活動については全くないです。」

福本委員

「河合町だけでなく、北葛城郡で取り組むことはできないのですか。」

教育長

「当初そのような話もありましたが、実際のところかなり難しいと思います。」

福本委員

「先生の負担を0(ゼロ)にするには町だけでは無理なのではないでしょうか、また、人材バンクに登録されている方は、資格をお持ちなのですか。」

中尾部長

「資格のない方がほとんどです。資格にこだわれば人材が集まらないと思います。」

森嶋委員

「難しいと思いますが、こういうことを実施しているような企業とか。そういうところのサポートをもらうようなやり方は可能なんではないでしょうか。」

中尾部長

「もちろん検討もしました。人材を派遣する業者というのは、ちょっと増えてきてるところです。ただ予算的には3倍ぐらいかかってしまい、今の状況であれば、人件費だけが膨らむかな、というところです。予算的に8団体を見てもらうのは厳しく、受益者負担という方法もありますが、どちらがいいのか、判断が難しいところです。」

中村委員

「大学生に指導してもらうのはどうでしょう。」

中尾部長

「県は天理大学と連携していますが、おそらく上手く行っていないと思います。中心になってくれる人物がいてサポートなら大学生でもできるかもしれませんが、大学生だけ任すのは難しいでしょう。まずは中心に指導してくれる方の確保が優先されます。アンケートには指導は出来ないがサポートならできるという先生もおられます。」

森嶋委員

「名称が移行期間から地域展開に切り替えという話も聞きましたが、まだそこまで行きませんか。」

中尾部長

「今のところ活動できる受け皿はありません。整備委員会には、スポーツ協会、文化協会、総合型の指導者の方などに入っていますが、受け手は無く、陸上だけが唯一、総合型のクラブで中学生を受け入れてくれる可能性がある状況です。」

土日祝が、社会教育で学校から切りされます。それに対して、どういう説明して行くのか、指導者がいなかったら、土日は活動できませんっていうことも伝えていかなければ

	ならないし、例えば、土日の活動を指導してくれる方がいても大会には付いて行けません。大会には出場出来ないということも起こりえるということを言っていくべきなのかという思いもあります。」 教育長 「先日、中学校長に今の一年生が部活動を終えるころまでは先生方に面倒を見てもらえないかと話をしました。学校としては働き方改革もあり、校長としては言いにくい。 また、部活動に前向きな先生が、学校から部活動を切り離すという方向に進んでいるなか、積極的に指導に係るという姿勢を示すのも難しい。ということでした。」 ・第４回河合町立文化会館運営協議会について（吉川浩行課長生涯学習課） 山川委員 「方向性としては、休館するということになるのでしょうか。」 吉川課長 「そうせざる得ない状況です。」 教育長 「運用、存続に向け、収支や修繕費など考え、稼働率も30%を目標に、という話もありました。しかし、ここに来て法令違反となる可能性もある。という指摘も受けています。」 中村委員 「大ホールの稼働率は何%ですか。」 中尾部長 「まほろばホールを活かす会は３回、今まで使用の無かった第二中学校の５０周年祭や」コンサートもあわせて、５パーセント上がり約20%です。」 山川委員 「駐車場が無いというのも問題ですね。」 中村委員 「大ホールとしての魅力、音響の効果が良いということもありますけど、駐車場が離れたところにあるので。」 山川委員 「町バスを活用するととなると町のサポートが必要になります。」 中村委員 「収支を見ると続けていくのは難しいのではと感じますが。」 中尾部長 「お金の問題ではないという意見もあります。毎年約2千5百万円はかかる状況です。河合町のシンボルとして、それに見合うだけの利用があれば良いのですが、財政的には非常に厳しく、さらに改修に約4千万円かかります。補助金でもあれば、やろうかという話にもなるんですけども、今のところは補助金がないような状態です。 改修したら10年確実にもつんだったら、改修も検討しますが、改修してもいろんな課題が出てくる可能性があります。」 ・新聞記事について（本多指導主事）
閉 会	教育長 15時30分 閉会宣言